



「SCマンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていただくための連載です。

## 特殊詐欺にご注意を

▼問合せ 市民協働課

松原警察署 (☎336・1234)

皆さんは特殊詐欺をご存じでしょうか。

特殊詐欺とは、犯人が電話・はがきなどで、息子や市役所職員などを名乗り被害者を信じこませ、現金やキャッシュカードをだましとったり、「医療費、保険料、税金などの還付金があるので手続きしてください」と被害者にATMへ誘導し、操作させ被害者の口座から犯人の口座に送金させるなど巧妙な手口を使います。

そこで特殊詐欺を未然に防止するために、犯罪の防止対策委員会では青色防犯パトロール車や町会による回覧などを通じて啓発活動を行っています。

「自分は絶対に騙されない！」と



▶特殊詐欺の啓発ポスター

思っているも被害に遭う場合もあります。「お金」に関する不審な電話があれば、一度電話を切り、家族や警察へ相談してください。



### 地域の防犯活動を紹介

#### —空研塾 西田道場のランニングパトロール活動—

▶問合せ 市民協働課

「自分のまちは自分で守る」そんな人に育ってほしい。

空研塾 西田道場代表の西田真司さん(以下西田さん)は言います。子どもから60歳までの道場生とトレーニングを兼ねて一度に2~3キロを走っています。

きっかけは8年前に近所で起きた痴漢の被害でした。話を聞いた西田さんは、見守りの目があれば被害を防ぐことができるのではと始められました。

今では「安まちアプリ」で不審者情報を入手し、発生した地域の付近をランニングしながらパトロールをしています。稽古の時間以外にも、自主的にランニングパトロールをしている道場生も増えてきているとのこと。

稽古に加え、この活動をすることで、子どもたちに「自分のまちは自分で守る」という意識が芽生え、大人になった今では、警察や自衛官など人を助ける仕事に就いている道場生をうれしく、誇りに

思うと話されていました。今後も活動を続けていくという西田さん。

「市内にはたくさんの武道場がある。この活動がそれぞれで始まり、市域全体に広がってほしい」と話されていました。

安まちアプリの詳細は22ページをご覧ください。



▲西田真司さん(空研塾 西田道場代表)

